

高耐候低汚染形セラミック変性ターペン可溶アクリルシリコン樹脂塗料(耐候形1種)

セラMシリコンII

耐汚染性が
飛躍的に
向上しました!



「提案色」

KP-111

KP-110

KP-112

KP-223

KP-221

KP-310

KP-127

KP-121

KP-133

KP-80

KP-337

KP-120

KP-131

KP-141

KP-247

KP-330

KP-336

KP-147

KP-350

KP-75

KP-347

KP-357

KP-150

KP-352

KP-70

KP-356

◎

KP-167

◎

KP-376

◎

KP-368

◎

KP-50

◎

KP-367

◎

KP-170

◎

KP-385

◎

KP-185

◎

KP-379

●◎印は材料費が割高になります。

原色色見本

黒

黄

黄土

赤さび

赤

オレンジ

青

緑

白：原色色見本

19：1

9：1

9：1

19：1

19：1

9：1

19：1

19：1

※この見本帳は紙に塗装していますので、実物と多少異なる場合があります。
上記色見本のうち原色の色については、実物と多少色味が異なる場合があります。ご了承ください。
本品の黄・オレンジ原色は、環境に配慮した無鉛顔料を使用していますので、隠ぺイ力に劣る場合があります。

特長

- 1) 耐汚染性が非常に良好です。
- 2) 耐候性・耐薬品性・耐久性に優れた塗膜性能を発揮します。
- 3) 塗料用シンナーで希釈するため作業性に優れているばかりか、より安全な作業環境で 塗装できます。
- 4) ホルムアルデヒド放散等級区分は、F☆☆☆☆です。
- 5) 鉛・クロムは配合していません。
- 6) 防カビ・防藻性を有しています。
- 7) 弾性タイプのバリエーションがあります。

屋外汚染性比較

「更に耐汚染性が向上しました。」

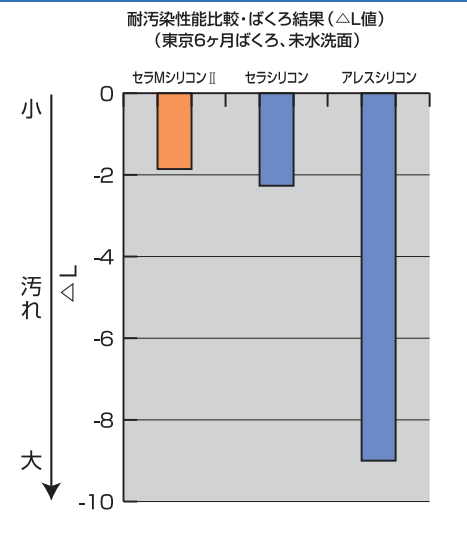
セラMシリコンⅡ



従来形2液強溶剤アクリルシリコン樹脂塗料

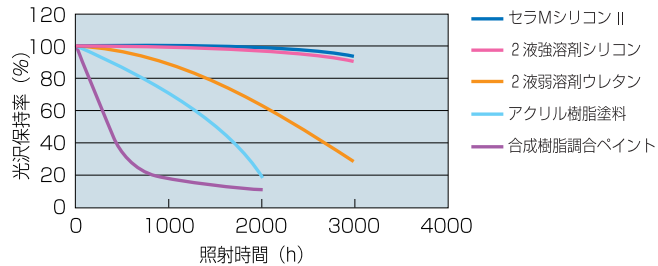


※兵庫県尼崎市南面6ヶ月での雨筋汚染試験



セラMシリコンⅡの耐候性は
耐候形1種に合格します。

●促進耐候性(SWOM)試験結果



地球に優しい塗料です。

	セラMシリコンⅡ	従来形2液強溶剤アクリルシリコン樹脂塗料
溶剤種	弱溶剤	強溶剤
鉛・クロム	配合せず	配合している(黄・オレンジ)
臭気	比較的弱い	強い
防カビ・防藻性	有	無

幅広い素材・旧塗膜適性があります。

●素材・旧塗膜適性

素材	下塗	旧塗膜	下塗
コンクリート	エポムシーラー	吹き付けタイル	アレスホルダーGⅡ
モルタル	エポムシーラー	スタッコ	アレスホルダーGⅡ
スレート	エポムシーラー	リシン	アレスホルダーGⅡ
PC板	エポムシーラー	焼き付け(メラミン・アクリル)	スーパーザウルス
押出成形板	エポムシーラー	合成樹脂調合ペイント	スーパーザウルス
ブロック・ALC	エアレスフィラー		
木部	ホルス下塗白(F4)		
鉄部	スーパーザウルス		
アルミニウム	スーパーザウルス		
亜鉛メッキ	スーパーザウルス		
硬質塩ビ・FRP	セラMシリコンⅡ 中塗(研磨・脱脂必要)		
サイディングボード	アレスポリマーレジン		
シーリング材	シーブラ		

注) 外部の塗り替えにあたっては、高圧水洗を必ず行ってください。その他の下地についても、適切な下地処理を行ってください。表中にない下地や旧塗膜の適性については、当社にお問い合わせください。

■荷姿

セラMシリコンⅡ	セラMシリコンⅡ 中塗
● ベース13.5kg、3.6kg ● 硬化剤1.5kg、0.4kg ● 弾性硬化剤2.0kg	● ベース14.5kg、3.6kg ● 硬化剤1.5kg、0.4kg ※● 弾性硬化剤1.5kg
● ベースは共通です。 ● 弾性硬化剤は2.0kgのみの設定です。	※弾性硬化剤は1.5kgのみの設定です。

●塗膜性能

試験項目		セラMシリコンⅡ	セラMシリコンⅡ (弾性タイプ)	強溶剤シリコン	
初期性能	容器の中での状態	主剤・硬化剤ともにかき混ぜたとき、 堅い塊がなくて一様なこと	合格	合格	合格
	鏡面光沢度(60度)	70以上	80	80	85
	乾燥時間	8時間以内(半硬化)	合格	合格	合格
	塗膜の外観	塗膜の外観が正常であること	合格	合格	合格
	ポットライフ	5時間で使用できること	合格	合格	合格
塗膜性能	鉛筆硬度	23℃・7日間乾燥後	H	B	H
	付着性	1mm幅10×10基盤目	100/100	100/100	100/100
	耐衝撃性	φ1/2インチ×300g×50cm	異常なし	異常なし	異常なし
	耐屈曲性	φ10mm	異常なし	異常なし	異常なし
	耐アルカリ性	23℃・5%苛性ソーダ液 30日間浸漬	異常なし	異常なし	異常なし
	耐酸性	23℃・5%硫酸水溶液 30日間浸漬	異常なし	異常なし	異常なし
	耐水性	23℃・上水 30日間浸漬	異常なし	異常なし	異常なし
	耐プリスター性	50℃・95%RH 300時間	異常なし	異常なし	異常なし
	耐ソルトスプレー性	35℃・5%食塩水 5000時間	異常なし	異常なし	異常なし
	促進耐候性	サンシャインW-O-M 3000時間	光沢保持率 92%	85%	90%
			外観	異常なし	異常なし

注) 供試験装置 耐水性 耐プリスター性 耐ソルトスプレー性
プラスト処理銅板・SDジंक1000～スーパーザウルス×2回～セラMシリコンⅡ×2回

■コンクリート・モルタル・スレート面

1)旧塗膜のテクスチャーを変えた塗替え

工 程	塗料名と処置	所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1 素地調整	クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処理を施す。 劣化塗膜をケレン工具（皮スキ、ワイヤーブラシ）で除去し、ホコリ、 汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
2 下地調整材（下塗り）（中塗り）	アレス ホルダーGⅡ 上水	0.8～1.2	8時間以上 7日以内	3～6	多孔質ローラー
3 中塗り	セラMシリコンⅡ 中塗 （ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5～15 10～30	ハケ、ローラー
4 上塗り	セラMシリコンⅡ （ベース/硬化剤=9/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	0～10 5～10	ハケ、ローラー エアレス

2)旧塗膜のテクスチャーを活かした塗替え

工 程	塗料名と処置	所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1 素地調整	クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処理を施す。 劣化塗膜をケレン工具（皮スキ、ワイヤーブラシ）で除去し、ホコリ、 汚れなどを高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
2 下地調整材（下塗り）（中塗り）	アレス ホルダーGⅡ 上水	0.3～0.5 0.5～0.7 0.5～0.7	8時間以上 7日以内	5～10 7～10 7～15	中毛ローラー リシンガン エアレス
3 中塗り	セラMシリコンⅡ 中塗 （ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5～15 10～30	ハケ、ローラー エアレス
4 上塗り	セラMシリコンⅡ （ベース/硬化剤=9/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	0～10 5～10	ハケ、ローラー エアレス

3)平滑仕上げ

工 程	塗料名と処置	所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1 素地調整	エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・ サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。 pH10以下、含水率8%以下とする。				
2 下塗り	エボMシーラー	0.15 0.18	16時間以上 7日以内	無希釈	ローラー エアレス
3 中塗り	セラMシリコンⅡ 中塗 （ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5～15 10～30	ハケ、ローラー エアレス
4 上塗り	セラMシリコンⅡ （ベース/硬化剤=9/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	0～10 5～10	ハケ、ローラー エアレス

施工上の注意事項

- 所要量は、被塗物の形状や素材、塗装方法、環境などによって増減する場合があります。
- 塗装仕様に記載の塗り重ね乾燥時間は、屋外で気温23℃の条件を想定しています。低温時や屋内等で十分な換気ができない場合は、塗り重ね乾燥時間が長くなる場合がありますので、ご注意ください。
- 気温5℃以下、湿度85%以上の環境では塗装を避けて下さい。また、強風時や降雨、降雪、結露が予測される場合も塗装を避けて下さい。
- 黄・赤・青・緑系の汚れた色で仕上げる場合は、隠蔽性の良い共色を塗装してから仕上げられますことをお奨めします。
- 外壁面や浴室壁面等にエマルジョンパテを使用しないで下さい。剥離の原因となります。
- 完全乾燥までに時間を要しますので、カウンター、床面等への塗装は避けて下さい。
- 調色には指定原色を使用して下さい。また、濡れ色に比べて乾き色の方が濃くなる傾向ですので、調色は乾き色に合わせて下さい。
- 希釈には必ず「塗料用シンナーA」を使用して下さい。その他のシンナーを使用した場合、チヂミや再溶解等が発生することがあります。また、ラッカー系旧塗膜面を塗り替える場合、チヂミが発生することがありますので、事前に確認して下さい。
- 使用前に塗料を均一にかき混ぜて下さい。薄めすぎは隠蔽力不足や光沢不足の原因となるだけでなく、流れやすくなるため、仕上り不良の原因ともなりますので、ご注意ください。
流れた部分が白っぽくなる場合がありますが、この場合は、直ちに補修塗りを実施して下さい。
- 被塗面に、油、ワックス、汚れ等が付着している場合は、シンナーを含ませたウエスで拭き取ってから塗装して下さい。異なる色を塗り重ねる場合も、ニジミ防止のため、塗り重ね乾燥時間を1日以上確保して下さい。
- 塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用して下さい。
- 開缶した状態で長時間放置すると、水分と反応して増粘・皮膜り等を起こしやすくなりますので、使用後の塗料は、直ちに密閉して冷暗所に保管して下さい。

■一般鉄部（塗替え）・亜鉛メッキ面

工 程	塗料名と処理	所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1 素地調整	劣化している塗膜はケレン工具で除去する。さびは電動工具や サンドペーパーなどを用いて除去し、被塗装面を清浄する。 素地露出部は工程2の下塗りをういて補修塗りを行う。				
2 下塗り	スーパーザウルス （ベース/硬化剤=9/1） 塗料用シンナーA	0.14 0.17	4時間以上 7日以内	0～10 0～10	ローラー エアレス
3 中塗り	セラMシリコンⅡ 中塗 （ベース/硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5～15 10～30	ハケ、ローラー エアレス
4 上塗り	セラMシリコンⅡ （ベース/硬化剤=9/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	0～10 5～10	ハケ、ローラー エアレス

【弾性仕上げの場合】

■コンクリート・モルタル面

複層仕上げ 防水形複層塗材E適合仕様

工 程	塗料名と処置	所要量 (kg/m ² /回)	塗装間隔 (23℃)	希釈率 (%)	塗装方法
1 素地調整	新設 エフロ・レイタンス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・ サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。 pH10以下、含水率8%以下とする。				
2 下塗り	塗替 クラック、鉄筋の露出漏水などの部分に適切な処理を施す。劣化塗膜 をケレン工具（皮スキ、ワイヤーブラシ）で除去し、ホコリ、汚れなどを 高圧水洗で取り除き乾燥した清浄な面とする。				
3 中塗り	下塗り アレスゴムタイル シーラー	0.15 0.18	2時間以上 7日以内	0	ローラー エアレス
4 上塗り（1回目）	ベース 塗り パター 塗り アレスゴムタイルニューラ 上水	0.6～1.3 0.6～1.3	2時間以上 7日以内 16時間以上 7日以内	10～20 1～3	リシンガン 4.5～6.5mmφ タイルガン 6～8mmφ
5 上塗り（2回目）	セラMシリコンⅡ 中塗 （ベース/弾性硬化剤=10/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	4時間以上 7日以内	5～15 10～30	ハケ、ローラー エアレス
	セラMシリコンⅡ （ベース/弾性硬化剤=7/1） 塗料用シンナーA	0.12 0.14	—	0～10 5～10	ハケ、ローラー エアレス

※弾性仕上げの場合、弾性硬化剤を使用してください。

- ベースと硬化剤を混合した塗料は、8時間以内（23℃）にご使用下さい。混合後、長時間経過した塗料を使用した場合、塗膜性能が低下する場合があります。
- 下塗りにVPシーラー、エコカチオンシーラーを使用しないで下さい。チヂミや層間剥離を生ずる可能性があります。
- 硬化剤は、必ず専用の硬化剤を使用して下さい。ベースと混合後は直ちにかき混ぜて下さい。
- 混合比率（重量比） 中塗り：ベース/硬化剤=10/1
上塗り：ベース/硬化剤=9/1
上塗り（弾性）：ベース/硬化剤=7/1
- シーリング材の上は塗膜のフれや汚れが生じることがありますので塗装はお避け下さい。やむなく塗装を行う場合は「シーブラ」「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」をご使用下さい。
- ベース/硬化剤混合時には秤などを使用して正確に量り取ってください。
- 硬化剤配合量が規定量よりも多くなると（可使時間）が極端に短くなる場合があります。
- 盛夏時には2液混合後短時間で使い切るようにして下さい。
- 塗装後7日以上経過した上塗に補修塗りや再度の塗り重ねを行う際は必ず塗り重ねる箇所をペーパー掛けしてから実施して下さい。ペーパー掛けが施せない部位においては「スーパーザウルス」をバインダーに用いて、塗装を実施して下さい。これらの処置を行わない場合層間剥離を生ずる可能性があります。
- 塗料適性の無い旧塗膜は剥れる可能性があります。
- 汚れについての注意点
1. シーリング材、鉄サビに起因する汚れは、従来塗料と同レベルです。
2. 建物の構造上、本来の耐汚染性が発現しない場合があります。雨掛りの少ない被塗面や汚れが大量に流れ落ちる被塗面では充分な汚れ防止効果が得られないこととありますのでご了承をお願いいたします。

注 意 事 項

■下記の注意事項を守って下さい。

■詳細な内容については化学物質等安全データシート（MSDS）をご参照下さい。

予 防 策	取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具（帽子・保護メガネ・マスク・手袋等）を着用し、身体に付着しないようにすること。 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、顔・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。 火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。 火災が発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。 裸火又は高温の白熱体に曝露しないこと。 本来の目的以外に使用しないこと。 指定材料以外のものとは混合（多液品の混合・希釈等）しないこと。 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
-------	---

関西ペイント販売株式会社

本 社 TEL (03) 5711-8904 FAX (03) 5711-8934
東北販売部 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
北海道・旭川販売部 TEL (027) 243-0388 FAX (027) 243-0398
東京販売部 TEL (03) 5711-8905 FAX (03) 5711-8935
中部販売部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
大阪販売部 TEL (06) 6337-0761 FAX (06) 6330-2751
中国販売部 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
新・大阪販売部 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603 ※3月より移転によりTEL・FAXが変更となります。

株式会社カンペ共販北海道

本 社 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757

株式会社カンペ共販四国

本 社 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950

株式会社カンペ共販九州

本 社 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

● 関西ペイントホームページアドレスhttp://www.kansai.co.jp/

ご用命は

使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。
目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸い込んだ場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類（ウエス）等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
指定容器を使用し、完全にふたをてして湿気のない場所に保管すること。
直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。（排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。）